

第3回 気仙沼市新庁舎建設基本構想策定有識者会議

議 事 要 旨

報告事項

(1) 第2回有識者会議の議事要旨とその対応について【報告1】

- 第2回有識者会議の議事要旨とその対応については、特に意見は無く、概ね了承を得た。

(2) 先進地視察の報告【報告2】

- 先進地視察に参加した矢口委員、小野寺克浩委員、加藤委員の3名が所感を述べた。他の委員から、特に質問等は無かった。

議事要旨

(1) 会議の公開・非公開・議事録の作成について

- 本会議及び議事録については、市情報公開条例に基づき公開とすることで了承を得た。
- 第3回有識者会議の議事録については、丸谷委員長と小野寺有一委員の署名とする。

(2) 新庁舎機能・性能の基本的考え方について

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
基本理念と基本方針について	1	・基本理念と基本方針について、優先順位があるのであれば、教えていただきたい。 (矢口委員)	前回の有識者会議でのご意見を踏まえ、優先順位から1番、2番、3番として基本理念を追加でお示ししています。	内容の修正等に係る意見は特に無く、概ね了承を得た。
想定職員数について	2	・気仙沼市の将来の職員数や定員管理計画というものはあるのか、ないのか。いわゆる行政改革との関係も含めて、それはどういう扱いになっているのか。 (菅原委員)	本年度中には将来の職員数を見据えた上での計画を立てる予定としています。	内容の修正等に係る意見は特に無く、概ね了承を得た。
	3	・現段階の想定を大幅に下回るあるいは上回ることがあるのか、ないのか。それによって面積がまるっきり変わることがあるのか、ないのか。その辺の見通しと整合性はどのようにお考えか。 (菅原委員)	今後検討していく中で、この426人から少し増えていくことも考えられます。 新庁舎の想定規模の検討においては、基準による面積に、市民等が集える空間として600平米を加えたほか、さらに上振れしてもいいように想定床面積を1万1,000から1万2,000と見込んでいます。	

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
	4	<ul style="list-style-type: none"> 全職員数の1,073人と1,220人の関係を教えていただきたい。 (峯浦委員) 	全職員数1,073名は、特別職の4名と、それから臨時職員の143名が入っていません。	
議長まとめ	5	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念に対応する課題については必ず改善しないと、この理念が達成できないと読める。 既存の課題のポイントと、絶対に改善しないとイケないところを説明ができるように次回ご準備を頂きたい。 (丸谷委員長) 	—	
	6	<ul style="list-style-type: none"> 敷地に関わる内容については、特に重点的に説明いただきたい。 例えば防災機能だと、自然災害や孤立などからの回避について、今は孤立していると読んでいいのか、それとも、孤立してはいないけれども十分ではないのかということについて、後ほど議論になるかと思う。 バリアフリーについても、坂の上にあることはどう評価されるのかも併せて敷地の議論をしないといけない。 (丸谷委員長) 	—	◆概略配置図を作成し、第5回有識者会議に提示予定。それを基に、ご議論いただきます。

(3) 建設候補地の選定について

①建設可能な土地の抽出について

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
フィルター条件について	1	<p>・フィルター条件の「敷地面積1ヘクタール以上」について、想定規模からすると少し小さめではないか。整合性はどのようにお考えか。 (丸谷委員長)</p>	<p>P8 新庁舎の想定階数の概念図のとおり、計算上ですが、1haと仮定した時の想定で6階もしくは5階となります。 この8ページの想定敷地面積としては、4階建ての場合と6階建ての場合ということで想定しながら、敷地が狭くなれば建物が高くなる、広くなれば建物は低くも設定できるというイメージで捉えているところです。</p>	内容の修正等に係る意見は特に無く、概ね了承を得た。
	2	<p>・4階建てと6階建ての庁舎では、建設コストはどの程度違いがあるのか。 (丸谷委員長)</p>	<p>一般的には、階数が高くなると、基礎の数が減りますと、建物というのは、土工事に一番お金がかかるので、安くなるというのがあります。 ただ、それも限度があり、4階と6階でどれだけ違うかという点、今回、基本構想の概算では、同じ金額で出すことになると思っています。</p>	
	3	<p>・1haで広々とした空間がとれるのか。それで満足なのですかという議論が当然出てくる。併せてご説明いただければありがたい (丸谷委員長)</p>	<p>もちろん平面として広まりが必要というのと、例えば須賀川市役所のように、吹き抜けにすることによって、空間的な広がりを作っていこうという、設計者側のアイデアが最終的に出てくるんだろうとは思っています。 バリアフリーをどこまで考えるのかを含め、次回までに簡単な絵を作りながらご説明できればと思っています。</p>	◆概略配置図を作成し、第5回有識者会議に提示予定。それを基に、ご議論いただきます。
	4	<p>・新庁舎建設の位置の考え方は①から⑤までであるが、③可能な限り国・県など他の官公署や公共施設などが近接している位置というのは、このフィルターでいくと、一体どれが当たるのか。 (矢口委員)</p>	<p>公共機関につきましては、評価基準のほうで示しており、今回絞り込まれた候補地について、公共機関との近接性について評価していくことになりうかと思えます。</p>	内容の修正等に係る意見は特に無く、概ね了承を得た。

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
	5	<ul style="list-style-type: none"> 人口重心 5 キロ圏内は車で 10 分と載っていたのですけれども、その 5 キロを 10 分にした根拠はなにか。 (小野寺 (克) 委員) 	<p>人口重心から 5 キロについては、用途地域内、都市マスの中心拠点という範囲を含める形で設定しております。</p> <p>「車で約 10 分圏内」につきましては、その時間的な感覚を持ってもらうために表示にしているところです。</p>	内容の修正等に係る意見は特に無く、概ね了承を得た。
	6	<ul style="list-style-type: none"> 「災害危険区域外」に、現市役所と旧市立病院が○になっているが、基本的な考え方の中で、孤立を回避するといっている中で、孤立した経験のある所を完全に○としていいのか。 (小野寺 (克) 委員) 	<p>孤立に関しましては、評価項目のほうで、評価をしていくと考えているところです。</p>	
その他	7	<ul style="list-style-type: none"> 病院跡地の土壌汚染の可能性については、何らかもう検討してあって、一応ここは大丈夫だろうというのを考えているのか。 (矢口委員) 	<p>土地履歴調査をして問題が出てきたという時には、土壌を改善しなければいけないこととなります。今の段階では、あるかどうか判断できないのですが、一応は概算の中で、費用は見ておきたい。</p>	◆概算事業費を作成し、第 5 回有識者会議に提示予定。それを基に、ご議論いただきます。
都市公園， 都市計画公園について	8	<ul style="list-style-type: none"> 必ず同等の代替地が必要なかどうか。震災前には、反松公園の年間の稼働率がどのくらいだったのかもしれないか、教えていただきたい。 (春日委員) 	<p>公園の震災後の縛りですが、法律的に制約があるということになっています。</p> <p>反松公園の稼働率については、次回までにお示ししたいと思います。</p>	◆気仙沼公園，反松公園の取扱いについて再確認し、第 4 回有識者会議に提示します。 →【資料 1】参照
	9	<ul style="list-style-type: none"> フィルター 3 で×となっているのは、もう無理ということか。復活する可能性はあるか。 現状の場所と旧市立病院、どちらも震災の時に孤立している。では、孤立していない場所も選択肢としてあっていいのではないか。 公園の代わりに場所がないから無理ですということではなく、これから 100 年先の時代を考えた新庁舎を考えて議論ができればと思う。 (加藤委員) 	<ul style="list-style-type: none"> 孤立の問題については、評価項目で評価したいと考えています。本市に限らず、防潮堤を造ることを前提にすれば、災害危険区域から外れますから、基本的にどこも孤立はしません。 防潮堤が全部壊れる最大クラスの津波の想定と、1,000 年に 1 回の豪雨の時の想定をどう考えるのか、次のフィルターの時に考えていただくこととなります。 土地区画整理事業にしても、気仙沼公園にしても、周辺住民の理解、合意が必要だと思います。そういう意味で困難はあるのだろうと思っています。 	

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・できないものを候補地として挙げて、時間のロスだと思う。 (遠藤委員) 		
議長まとめ	11	<ul style="list-style-type: none"> ・代替地を取得しなければいけないということは、民有地を取得しなければいけないのでアウトだという説明であれば、これはフィルター1に整理したほうが良い。 ・区画整理の問題は、これは地権者意識の問題なので、法律が駄目なのではなくて、周辺の住民の方の納得が得られないことの部分をもっと強調されたほうが良い。 ・フィルターの表現を変えたり、次の段階で整理したりも含めて、もう一回、次回、再整理していただく。 ・次のフィルターについては、取りあえず2つの公園についても、もし作業上、そんなに大変ではなければ、少しご報告は聞いてみたい。 	<p>次回までに、検討させていただきます。</p>	<p>◆気仙沼公園，反松公園の取扱いについて再確認し，第4回有識者会議に提示します。</p> <p>→【資料1】参照</p>

②建設候補地選定の評価基準・評価方法について

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
評価基準項目について	1	<ul style="list-style-type: none"> 評価基準表の(3)について、市民の利便性についてお伺いしたいのですが、交通アクセス、公共交通機関を利用したアクセスの容易さを評価、駅からの距離で評価とありますが、現時点で市役所を利用する方が、いわゆる駅を利用することは現実的、極めて低いのではないかと。(小野寺(有)委員) 	<p>その評価項目・方法については、本日素案という形でお示し、ご意見を頂きながら、次回以降に向けて整理をしていければと考えています。</p>	<p>◆評価基準項目について再度精査し、第4回有識者会議に提示します。 →【資料1】参照</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> 今まで進めてきたまちづくりに対しての影響度などをやはりきちんと評価して、基準として考えていくべきではないかと。 現位置の場合、移転した場合で町の骨格、絵姿が変わることに対して評価を考えるべき。(菅原委員) 	<p>新しいまちづくりへの寄与の「新しい」というのは、復興まちづくりのことを意図しています。周辺市街地の拠点にの核としての役割に関する項目や新しい街づくりに関する項目等の復活も含めまして、その表現は多少修正しないとイケないと考えております。</p>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> 評価基準項目にあるまちづくりの計画との整合性は、建設可能な土地の抽出のところでは、全く謳われていないのに、評価のところでは出てくるのはおかしいのではないかと。 上位計画との整合性については、大きな都市のビジョンと、この市役所の位置は、すごく大切な関係があると思うので、もう一度検討して欲しい。(矢口委員) 	<p>これまでの本市の分散の歴史の中で、今回の東日本大震災において、何らかの集積ができたかという点、実際はできないままに、各事業が進んでいったという状況にあります。今のさまざまな施設の配置からいって、どうなんだというような観点以上に、どこにあたら市役所としての利便性が高いかというのは難しいと考へます。</p>	
	4	<ul style="list-style-type: none"> まちのバランスのようなことも必要ではないかと。(峯浦委員) 	<p>一方で、まちづくりのシンボルという意味でのいろいろな考へ方があるんだらうなと思つたところではあります。</p>	

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
	5	<ul style="list-style-type: none"> 解体費用の必要性について、いずれ両方の土地を活用するんだとすれば、どちらにしてもかかるのではないか。 (峯浦委員) 	<p>それはおっしゃるとおりです。公園と比較した場合も同様なので、この項目はいらないのではということもあります。</p> <p>また、仮庁舎の必要性もあるのですが非常に難しく、ここは引越しが2回です。一方でワントンを活用するとすれば、その分費用は下がるかもしれませんが。ところが、ワントンを残した上で、別の建物を建てれば、市民の利便性は悪くなると思います。</p>	
評価方法について	6	<ul style="list-style-type: none"> 濃淡を付けられるような評価、例えば3段階評価、5段階評価、10段階評価になっているなど。そもそもやはり2択しかないと、それぞれ好みがあると思う。 (加藤委員) 	<p>確かにそれが正しい、どれがいいのかという部分が事務局としましても悩んでいるところですので、他市の事例を参考にどのような手法でいったらいいのかというのを、ぜひご議論いただければと思っています。</p>	<p>◆各委員にヒアリングを行いながら、評価基準項目について再度精査し、第4回有識者会議に提示します。</p> <p>→【資料1】参照</p>
議長まとめ	7	<ul style="list-style-type: none"> 少なくとも3段階か5段階か、そういったようなことでの評価にされたほうが良い。 まず2つの比較とともに、残りの2つの公園についても、一応書くぐらいのことをやってみてはどうか。 基本的には、地域住民の方の合意が取れそうもない、あるいは、取るための代替用地が難しいという部分については、明確にその中に入れていただいた上での総合評価であれば、多分ご不安は解消される。 委員のほうから、これはおかしいのではないですかというのを、皆さん方に個別にでも聞いていただいたほうがいいのではないか。 そのような作業をやっていたら、それを共有していただくようなことで、少し丁寧に改善を図っていただいたら、納得感が高くなるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 重み付けをどのように表現に表していくか。先ほどの事例3だと点数評価があるんですね。重み付けがなされています。○×だと重み付けがなされていない。あと文章で判断しているという、非常に曖昧な状況になっていますので、そこも含めて個別にお話を聞かせていただければと思います。 候補地については、コンパクトシティを目指すことは残念ながらできなかった本市において、さらにもう1つ外側に造るのかということもあります。今後、より納得いただける内容を入れながら進めていきたいと思っています。 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> 移転を選んだときに、それに対して、復興計画や復興のそれぞれの活動と何か齟齬（そご）が出るかと考えていらっしゃるのか。いや、このぐらいの距離だったら大丈夫だと考えていらっしゃるのか、ご説明が必要になるかと思う。 	<p>気仙沼市の復興計画では、そういうポイントで、市役所の場所を中心にとりいうポイントで考えたような経緯はありません。一方で、被災した場所の賑わいについては大事だ</p>	<p>◆各候補地について仮評価を行い、次回以降の有識者会議に提示します。</p>

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
	9	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地について、まちづくりの面でのメリット・デメリットのような項目は、お作りになったほうがいいのではないかと。 必ずしもそのような項目が見当たらないというような部分は、市民意見交換会の前には、一応議論しておかないと、難しいことになると思っていますので、私のほうから、ご検討をお願いしたい。 	<p>ということで、復興は進めています。</p> <p>この場合はこのようなメリットがある。また、こういう場合には、このようなことメリットがあるといったように、選ばれなかった場合においても、対応について整理をしておく必要があると思っています。</p>	

(4) 市民との意見交換について

カテゴリ	No	意見等	市当局より	対応方針
市民との意見交換について	1	<ul style="list-style-type: none"> 現役高校生にも参加してもらいたいとありますので、そうすると、やはり土日祝日になるのかと思うんですけども、平日だと、やはりどうしても参加する年齢層が決まってくると思う。(春日委員) 	<p>高校生の参加も検討しているところですが、具体的には調整中です。</p> <p>詳細については、引き続き検討し、次回お示しします。</p>	<p>内容の修正等に係る意見は特に無く、概ね了承を得た。</p>

(5) その他

- 第4回有識者会議は、平成31年5月31日金曜日の午後に開催予定。

(16:29 閉会)